

～講演会&車いすラグビー体験会～
東京2020パラリンピック 車いすラグビー

銅メダリスト 島川 慎一さん凱旋！



ことし開催された「東京2020パラリンピック」の車いすラグビーで日本代表として出場した長洲町（向野区）出身の島川慎一さんが凱旋しました。

島川さんは、競技歴22年のベテランで、長きにわたって日本の車いすラグビー界の中心選手として活躍してきました。同大会は、自身にとって5大会連続のパラリンピック出場で、悲願の金メダル獲得に向けて挑戦しましたが、惜しくも準決勝で敗退。しかし、3位決定戦ではチーム一丸となり、2大会連続の銅メダルを獲得し、日本中に感動を与えました。

島川さんの功績をたたえて、県では「県スポーツ特別功労賞」を、また町からは「スポーツ功績名誉表彰」を授与しました。

11月3日に、町総合スポーツセンターで、11月4日には、町内の両中学校で講演会と車いすラグビー体験会を開催しました。

体験会では、車いすラグビーで使用されている競技用車いすに乗り、島川さんのタックルを体験しました。タックルを受けた子どもたちは「痛くはなかったけど怖かった」「一生の思い出になりました」などと貴重な体験にうれしそうなお感想が聞かれました。

最後に島川さんから、「食いしばって諦めずに進んだ結果が今につながっている。その気持ちはこれからも変わらない。みんなも諦めずに前に進んでほしい。自分も諦めずに3年後のパリパラリンピックを目指し、次こそは長洲町の皆さんに金メダルを見せるように頑張ります」と力強いエールを送りました。